

令和7年度「釜石市働く婦人の家運営委員会」開催結果(概要)

1 開催日時

令和7年6月25日(水) 午前10時27分から11時30分まで

2 開催場所

釜石市働く婦人の家 2階 第三講習室

3 出席者

- | | | | |
|----------|---|-----------------|-----|
| (1) 出席委員 | (1号委員) | 阿部津子、山崎サヨ子、木下佳子 | |
| | (2号委員) | 山崎詔子 | |
| | (3号委員) | 昆智恵子、正木隆司(会長) | |
| | (4号委員) | 菊池利之、梅澤貴次 | 計8名 |
| (2) 欠席委員 | 金野恭子、合田節子、菊池千代子 | | |
| (3) 事務局 | 働く婦人の家 菊池拓朗館長(商工観光課長)
橋本英章館長補佐、佐々木智代館員 | | |

4 経過

下記の次第に従って菊池館長が司会進行を務めた。協議事項からは、正木会長が議長となって会議を進めた。

- (1) 開会
- (2) 会長挨拶
- (3) 委員・職員紹介
- (4) 協議事項
 - ① 令和6年度業務概要について
 - ② 令和7年度釜石市働く婦人の家運営方針等について
 - ③ その他
- (5) 閉会

5 結果

協議事項①②は承認された。

③その他において、館の名称や今後の働く婦人の家の方向性について質問があった。

【協議事項における委員からの意見等】

定期講座の市広報などの参加者募集案内において、講師の氏名が掲載されていないが、参加希望者からすれば講師氏名が掲載されていた方が良いのではないかという意見が出され、講師本人の意向を確認したうえで掲載する方向で進めることとなった。

その他の意見・感想等は次のとおり。

- ・ いつも気持ち良く使わせていただいて感謝している。また、全体で行う大掃除なども負担がかからないように考慮してもらっており助かっている。
- ・ この施設では歳をとってもできることをやることができるので本当にありがたい。みんな自由に使わせてもらえるのが一番だと思っている。また、みんなが車を運転できる訳ではないので近くに住んでいる方には良い施設である。

- ・ 自主活動グループでの課題は会員の減少で、いろいろ誘ってはいるがなかなか増えない。釜石の状況を考えると仕方ないとは思いますが、今にもつぶれそうでグループが解体しそうな感じだ。
- ・ 働いているときにはこの施設の事業や活動はあまり目にはつかなかったが、退職した後にはこのような活動の場があるのは良いことだと思った。定期講座もあり、できるところまで続けていった方が良いと思う。
- ・ 現在は人口減少という課題もあるが、それ以外に人間関係の希薄化というのがすごくある。その面から見ると、この施設の講座やグループ活動を通じて非常に大切なことをやっているなと感じている。ぜひ、この活動を皆さんで大切に継続してもらいたいと思う。
- ・ 地域の繋がりを大事にしているところが日本の良さだと思っている。これを維持していくことがなかなか大変で、口では「維持した方がいいよ」とは言えるが、実際にどうしたらいいのかわからないという状況にあって、働く婦人の家では文化活動やスポーツ活動を通じて繋がりを維持できており、むしろ強化しているように見える。
このようにこの施設の存在意義はかなり高いものがあるので、ぜひとも今後も存在し続けてほしいと思う。
- ・ 活動が長続きしているのは、活動の中でおしゃべりなどもでき、一般家庭の主婦にとっては、その楽しみもあるので長く続いていると思っている。本当にこの施設は役に立っているので、絶対無くさないでほしい。

【館の名称、今後の施設の在り方・方向性について】

令和7年3月定例市議会で質問があった、働く婦人の家の名称変更や今後の施設の在り方に対し、現時点での市の考え方について質問があり、菊池館長から現時点での検討内容として、現状のまま利用者の更なる周知拡大を図る、名称の変更、公民館分館への移行、地区の集会所としての活用など様々な方法があると考えており、どの方法が一番適切でふさわしいのかを引き続き検討していきたいと考えていると回答した。

以 上